

マムン大学交換留学プログラム募集要項 (2026年秋学期派遣)

【マムン大学について】

場所：ウズベキスタン共和国 ヒヴァ市

学生数：約9,200人 教職員：270人（2025年現在）

学部：Faculty of Economics, Faculty of Social-Humanities and Exact Sciences, Faculty of Psychology, Medicine, and Sports, Faculty of Philology

マムン大学 HP: Ma'mun Universiteti

【プログラム概要】

派遣先：マムン大学（ウズベキスタン・ヒヴァ市）以下、MU

派遣期間及び時期：半年；2026年9月～2027年1月（予定）

1年；2026年9月上旬～2026年7月（予定）

※渡航後の派遣期間の変更は原則できません。

派遣人数：全学で4名以内

派遣対象：① 全学部・全研究科

② CEFR B2（IELTS6.0もしくはTOEFL iBT60など）レベル以上の英語能力を有する学生

③ 交換留学生として意欲や自覚のある学生

【応募・選考スケジュール】

応募締切：2026年4月20日（月）17時まで

応募書類・方法：①所定の申請書（写真添付）②成績証明書③誓約書

上記3点の書類を応募期間内に国際交流センター（滝子キャンパス3号館1階）に提出すること。

※申請書は大学ホームページまたは学務情報システムよりダウンロードできます。

（大学HP トップページ：国際交流・留学→在学生の方へ→現在募集中のプログラム）

選考基準：語学力、学業成績、交換留学生としての自覚や人格

（現地での交流活動にも積極的に取り組む行動力と積極性など）

選考・申請手続きのスケジュール：応募締切終了後に、学内面接にて候補生を選考します。

・学内面接：4月下旬～5月上旬予定（面接場所・時間については別途、メールでお知らせします。）

・申請書類作成：候補生に選ばれた学生は、速やかにMUの申込用紙および諸手続きの書類を準備し、指定された期日までに国際交流センターまで提出すること。CEFR B2（IELTS6.0もしくはTOEFL iBT60など）レベル以上のスコアの証明書が必要。

【費用・および現地の滞在先等】

(1) 授業料：MUへの授業料は免除（ただし、本学へは授業料を納入すること）

(2) 渡航費：後援会の奨学金支援の対象となります（学部生に限る、在学中一回のみ）。支給にあたっては審査があります。

(3) その他の費用（滞在費、保険料、ビザ申請料など）：自己負担となります。

(4) 滞在先：

・学生寮：費用負担なし

洗濯機、冷蔵庫、Wi-Fi、TV、エアコン、

※コンピュータールーム、コワーキングセンター、図書館、食堂、スポーツルーム、ランドリールーム、
監視カメラでの防犯システム有り

・ウルゲンチ市/ヒヴァ市の賃貸を契約することもできます。

【単位・学籍】

履修可能な科目：英語で受講可能な授業あり。

授業リスト（Current Student Exchange Program を参照）：

[Ma'mun Universiteti](#)

単位認定：派遣先で修得した単位の認定については、各学部の定める手続き・規定に従うものとします。

学籍：学籍状態は「在学」となります。派遣期間は本学での在学期間に参入されます。

派遣先で修得した単位は必ず認定されるとは限りません。卒業や進級に関わる場合もあるため、留学期間も含めた履修計画について、あらかじめ指導教員や各所属の教務担当者によく相談した上、応募してください。

【注意事項】

- ◆ 交換留学生として派遣される学生は、名古屋市立大学危機管理対応マニュアルに則り、万が一の事故に備えて、派遣前に緊急連絡先等の詳細を各学部の教務担当窓口へ提出してもらうほか、滞在中の危機管理等について説明を行います。
- ◆ 帰国後、報告書の提出や国際交流センター主催の留学フェアへの参加等のご協力をお願いします。

【お問い合わせ】

国際交流センター（滝子キャンパス 3号館 1階）

<tel:052-872-6315> Email: ryugaku@sec.nagoya-cu.ac.jp